

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和2年 2月 12日

事業所名: 放課後デイサービス放課後児童クラブすずらん

保護者等数(児童数)

13回収数

割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1			・活動や天候によって活動場所を変えています。また、人数を分けて活動をしたり、子どもの活動スペースが窮屈にならないよう配慮しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	12		1		・職員は1日定員10名の利用に対しては、3名配置、11名以上利用に対しては4名配置しており配置基準は満たしています。専門性に関しては、全職員保育士免許を保持し、児童発達支援管理責任者の免許も保持している職員がおります。毎年事業所内外研修にも全職員が参加しています。まだまだ足りない点もありますが、職員一同療育についての専門性の向上に努めてまいりたいと思います。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13				・事業所の設備等に関しましては、スロープや手すりを設置し、段差なく部屋に入れるように配慮をしています。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか	13			苦手な事と好きな事両方の取り組みがされている。	・保護者面談の中で、子どもさんと保護者の方のニーズを聞きながら、1人ひとりの課題について、個別支援計画書を作成しています。
	⑤ 活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか	13				・毎月の活動プログラムでは、活動が固定しないようにしています。音楽、ルールのある遊び、セレクト活動、運動、感触などの活動を行っています。また、季節に合わせた製作や、課外活動などの行事も実施しています。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	13				・同法人では、同じ建物内で学童保育すみれクラブが活動を行っており、年に2回ほど合同で遠足に行ったり、戸外活動で一緒に遊んだりしながら、交流を深めています。
保護者 への 説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13				・毎年、契約更新の際に支援内容の説明、利用者負担等に関して重要事項説明書の説明を必ずしています。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13			放デイでの過ごし方、家での様子と違うことも沢山あり、子どもの違う面がわかることができるアドバイスもありがとうございます。	・拂りの会から閉所までの時間にスタッフが保護者の方に子どもさんの様子を伝えるようにしています。今後も、保護者の方へ子どもさんの状況をしっかりと伝えていけるよう心がけていきます。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13			時間がとれずすみません。	・今年は7月に療育相談会を設けており、保護者の方のご家庭での悩みや困り感をゆっくりと相談できる時間を設けています。活動の様子はその都度伝えていこうにします。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13			最近あまり沢山参加できていないのでさびしいです。	・年に2回親子ふれあい会を開催しています。今年度は7月は7名、11月は5名の保護者に参加をさせていただきました。その際に、保護者懇談会の時間を設け、利用者の保護者同士でレクリエーションをしたり、子どもさんの悩み等話したりする場を設けています。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13				保護者のみなさんからのご意見は、苦情の内容および対応等については、職員間で話し合い共通理解をし、返答を行い専用の用紙に記録しています。苦情等に関しては、その内容に応じて、第三者委員の方へ報告するなどの対応をしています。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13				・その日の活動や子どもさんの様子を保護者がお迎えの際伝えています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13				・行事予定や毎月の活動、子ども達の様子をすずらん通信にてお知らせしたり、きつぷノートにて、個別にお知らせしたりしています。自己評価の結果も同法人の城ヶ丘保育園のホームページに掲載しています。
⑭ 個人情報に十分注意しているか	13				・個人情報につきましては、施設サービス利用に係る個人情報提供同意書をいただき、個人情報の取り扱いには気をつけています。	
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2		説明があったかもしれないですが、覚えてないです。	・緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等作成しています。避難訓練は毎月1回実施しています。7月の保護者会でマニュアルについては、保護者へ実物をみせながらお話ししましたが、伝わっていない部分もあるので公開方法の検討をします。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13				・毎月すみれクラブ、すずらん合同で火災や地震を想定し、避難訓練を実施しています。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	12	1		クッキングやおでかけの時は特に楽しみにしています。	・ありがたいご意見ありがとうございます。子ども達がすずらんの通所を楽しんでもらえるように、クッキングやおでかけの計画を考えていきたいと思っています。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	13			自分では気づかなかった事に気づいてもらい、それに向けての改善策への取り組みをしていただき満足しています。	・ありがたいご意見ありがとうございます。子どもさんによっては、学校で頑張ってきた分、すずらんでは自分を出せることもあり、ご家庭では見られない姿があると思います。子どもさん一人ひとりの支援の在り方を保護者の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和2年 2月 12日

事業所名: 放課後等デイサービス放課後児童クラブすずらん

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・活動によっては人数を分けたり、戸外での活動にしたり人数に対する場所の確保はしています。	・スペースは広いが個別指導する際に個室を確保することが難しい日があるため、活動内容の検討をしながら確保しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・職員数においては、10人に対して3名~4名配置するようにしています。配置基準を十分に満たしています。	・低学年の多い日はサービス提供職員を増やしてほしいという意見があったが、職員体制をみながら調整できるところはしていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・バリアフリー化の配慮はしています。	・男子トイレの大きさが子どもの体に合っていないという意見があったが、現段階では、トイレの工事をすることはできないため、高学年の男児には男女兼用の体の大きさにあったトイレを使っています。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				・個別支援計画会議、ケース会議、活動会議、毎月のミーティングなど多くの職員が参加し意見を出し合える環境をつくっています。業務改善を進めるために、より一層職員が発言できる場を設けています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				・保護者にアンケートを行うことで、保護者の意見を踏まえて改善に努めています。しかし、職員体制等難しいところもあります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				・自己評価の結果および保護者アンケートの結果を受け、城ヶ丘保育園のホームページやきっずノートのお知らせにて公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・第三者による外部評価の実施は行っていませんが、鹿児島県からの指導監査という形で外部評価を受けています。外部評価については、検討しています。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				・毎年、研修会の案内を職員に伝達し、参加できるようにしています。県内での研修参加、他事業所への見学などいづれかに職員は必ず参加しています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				・保護者のニーズ、子どものニーズを客観的に分析し、作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・以前は、SDQなど標準化されたアセスメントツールを使用し個別支援計画書に反映させていましたが、今年度はしていません。	・アセスメントツールに関しては、職員間で話しあい、すずらんでできるものがあれば活用していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・活動のプログラムに関してはリーダー保育士を中心とし、活動会議にて活動内容を決定し、活動の固定化がないようにしています。	・活動会議の日に休みの職員もいるため、共通理解をはかるためにも後日活動会議をまとめた資料を渡すようにし、伝え漏れがないようにします。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・毎月の活動会議では、前月に活動内容を決定し、できるだけ活動プログラムが固定化しないようにしています。	・毎月似たような内容が続く場合は、活動内容を考え子どもたちの支援に生かせる活動を入れています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・平日のプログラムと休日、長期休暇期間の活動に関しては内容を変えながら、子ども達の課題に沿った活動を設定しています。	・課題の設定に関しては、もう少し決め細かに設定ができるように平日と長期休みとそれぞれに職員間で検討します。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別活動と集団活動を組みあわせながら、計画作成を行っています。	・子どもの状況によって、グループを変えたり内容を個別に変えたり計画を作成するようにしたい。
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				・支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後に振り返りをするようにしています。	・支援終了後にできないときは、次の日に振り返りをしたり、毎月のミーティングでも活動についての振り返りや気づいたことを共有したりするようにしています。
適切な 支援の 提供	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				・子どもの様子について利用した日には必ず記録をしています。個別記録も1人ひとりファイルに綴り、支援の改善に努めています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				・個別支援計画書を作成したあとに、ケース会議などで計画の見直しの必要性があるか職員で検討しています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				・ガイドラインを見ながら、活動の組み合わせを考えるようにしています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当者会議にはふさわしい者が担当しています。	・担当者会議には、ふさわしい者が参加していますが、伝わっていないところがあるため、会議等で今一度報告し伝えます。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				・学校との連携や情報共有は必ず行うようにしています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		・現段階では該当者がいません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・情報共有できている保育所、児童発達支援事業所もあるが、できていないところもある。	・情報共有の仕方について、検討します。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		・現段階では該当者がいません。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		・助言や研修が受けられるように職員間で話しあいます。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○				・同法人内の児童クラブとの交流があり、年に2回合同遠足も計画しています。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				・協議会への参加しています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・日頃の子ども達の状況をお迎えの際に伝えたり、療育相談会を開き、子どもさんの課題について保護者と話したりする機会を設けています。
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				・ペアレント・トレーニングについては、今年度はスタッフが行いましたが、外部の講師も検討したいと思います。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				・運営規定や支援の内容、利用者負担等については丁寧な説明を年度のはじめに保護者に伝え、職員も共通理解しています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				・保護者からの相談を受けた際は、適切に応じるようにしています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者懇談会を年に2回しています。	・父母会はありませんが、保護者懇談会を開き、保護者同士の連携支援を行っています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				・子どもや保護者から出た苦情に関しては、苦情処理簿に記録し、職員間で話し合い、迅速に解決できるようにしています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				・毎月の月案やお便り、きつずノートを活用しながら保護者に対して発信しています。
	35 個人情報に十分注意しているか	○				・個人情報の取り扱いについては、個人に関わる書類等など鍵のかかるところで保管をしています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				・お迎えの際に保護者とは必ず話しができるようにしていますが、伝え漏れや話しをしていないことがないか職員同士で確認を徹底します。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・地域住民を招待する行事を事業所単位で行うことはなかなか難しいです。	・同法人の保育園と協力しながら今後の課題としてあげていきたいと思っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				・年度が始まる際に、職員へ7月の保護者懇談会にて保護者へ実物を見せて話をしました。参加されていない保護者もいらつしたため、次年度は重要事項説明書の際と一緒に説明をし周知します。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				・定期的に防災訓練を行っています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				・虐待とはどのようなものが虐待になるのか園内研修棟で勉強会を行っています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・重要事項説明書や契約の際に保護者へ話しをしています。	・身体拘束については、サービス計画にどのような記載にするか検討したいです。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○		・現段階では該当者がいません。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				・ミーティングやケース会議で話し合いをし、事例がある場合は記録するようにしています。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。